

3 実際に過去問を勉強する

Q7 「過去問学習の上手なやり方は？」

A 「とにかくまずはやりましょう！」

- ・過去問は合計約 2850 問もある
- ・やらなければならない
- ・面倒だけれどもコツコツ続けて習慣化する

Q8 「過去問はどう進めていけばいいですか？」

A 「過去問学習の際に想定される作業項目とそのポイントを考えてみましょう！」

作業①：問題を読む、解く

- ・最初は、「解けない」のは当たり前。解くより読む＝「過去問でインプット」
- ・組合せや穴埋め問題等では、全て確認・検討

作業②：解説を読む

- 読み方に注意（Q9 参照）

作業③：解説等記載の条文を読む

- 読み方に注意（Q9 参照）

作業④：別テキスト（基本書、判例集、択一六法等）に戻って確認

- （基礎知識がない間は、）時間がかかる。仕組み・工夫を考えることも重要
- 例えば
 - ・2 周目以降で実践
 - ・先に進み、ノルマ達成後に時間があれば戻って実践、なければ2 周目以降

作業⑤：解説等記載の知識を別テキストに書き込む、まとめる＝情報集約、一元化

- （基礎知識がない間は、）時間がかかる。仕組み・工夫を考えることも重要
- ・2 周目以降で実践
- ・文章ではなくキーワードと該当ページ数のみ書き込む

作業⑥：別テキストで知識確認（予習）してから過去問にとりかかる

- （基礎知識がない間は、）時間がかかる。仕組み・工夫を考えることも重要
- ・省略する。「解けない」のは当たり前。解くより読む＝「過去問でインプット」

作業⑦：それまでの過去問の勉強の復習をする

- 時間がかかる。仕組み・工夫を考えることも重要

例えば

- ・2 周目以降を復習と捉える。その代わり、1 周に時間をかけすぎないようにする
- ・ノルマ達成後に時間があれば復習にあてる、なければ2 周目以降を復習とする